

2017－2020 年度健康スポーツ科学科教員研究活動実績

【著 書】

- 安達詩穂 (2019) 「ダンスと資格－学び続ける指導者であるために」 54-55. 『女子体育平成 31 年 6、7 月号』. 日本女子体育連盟.
- 安達詩穂 (2020) 「群舞創作シートを活用したオンライン授業」 20-23. 『体育科教育 2020 年 12 月号』. 大修館書店.
- 藤野良孝 (2017) 毎日の生活が楽しくなる声の魔法 1 声の魔法を使ってみよう. くもん出版.
- 藤野良孝 (2017) 毎日の生活が楽しくなる声の魔法 2 クッキングがスイスイできる. くもん出版.
- 藤野良孝 (2017) 毎日の生活が楽しくなる声の魔法 3 家の手伝いがワクワクしてくる. くもん出版.
- 藤野良孝, 山本有一, 小川優二, 里崎桂子, 紀ノ定保臣, 山内博文, 牛丸大吾 (2018) 『素描集』 第 242 集. 5-11. 岐阜新聞社.
- 藤野良孝 (2017) マイナスな心の片づけかた. 自由国民社.
- 藤野良孝 (2017) 逆上がりだってできる! 魔法のことばオノマトペ. 青春出版社.
- 藤野良孝 (2017) 魔法の言葉ダイエット. 河出書房新社.
- 今泉佳宣 (2019) 「3 章 脊椎」 122-199. 渡部欣忍 (編) 『かんテキ整形外科』. メディカ出版.
- 岩浅 巧, 庄司直人, 水野基樹 (2018) 「ダイバーシティ・フォルトラインの発生状況に関する実証研究」 104-109. 働態研究のツール編集ワーキンググループ (編) 『働態研究のツール』. 人類働態学会.
- 松井かおり (2017) 「17 歳のカルテ」 88-89. 井上雅紀 (編著) 『先生が薦める英語学習のための特選映画高校生編』. 映画英語アカデミー学会, スクリーンプレイ社.
- 松井かおり (2018) 「第 2 部 第 3 章 英語授業という場の制約を越えたコミュニケーション環境の創造をめざして－多言語・多文化ワークショップの事例から」 66-75. 『全国大学国語教育学会公開講座ブックレット インクルーシブ教育とアクティブラーニング教室の中の多様性・多言語・多文化と授業づくり』. 全国国語教育学会, 東洋館出版.
- 松井かおり (2018) 「第 6 章 教科教育の実際 第 5 節 小学校英語科・外国語活動・英語科」 164-169. 齋藤義雄 (編著) 『教育方法・技術論 主体的・対話的で深い学びに向けて』. 大学図書出版.
- 松井かおり (2019) 「DIET プロジェクト 2」 多文化こどもエデュ niho ☆ nico (編), 全 74 頁. 岐阜県国際交流・多文化共生推進事業, ブックレット.
- 松井かおり (編著), 田室寿見子 (2020) 『演劇ワークショップでつながる子ども達 多文化・多言語社会に生きる』 全 258 頁. 成文堂.
- 松井かおり (印刷中) 「異文化を背景に持つ子ども達の社会文化的相互行為としてのネットコミュニケーション: 豪日 Email 交換プロジェクトの事例から」 木下徹先生退官記念論集編集委員会 (編) 『応用言語学と外国語教育研究－未来への展望－』. 金星堂.
- 加藤 尊 (2020) 「4 章 トレーニングとその効果」 102-103. 北川 薫 『運動とスポーツの生理学』. 市村出版.
- 窪田友樹 (2018) 「トレーニング論」 53-73. 木村昌彦, 尾形敬史, 鮫島元成, 高橋 進, 田中裕之, 高橋健司, 磯村元信, 佐藤幸夫, 浅野哲男, 向井幹博, 小志田憲一, 鮫島康太, 窪田友樹, 與儀幸朝, 石川美久, 竹澤稔裕 『平成 29 年度 スポーツ庁委託事業「武道等指導充実・資質向上支援事業」柔道指導のサイエンス－柔道授業や部活動に役立てるために－』. 公益財団法人全日本柔道連盟.
- 白石 豊 (2017) ヨーガ療法とスポーツメンタルトレーニング. 日本ヨーガ療法学会.
- 白石 豊, 吉田貴史 (2018) 技の指導のコツがすべてわかる器械運動. 明治図書.
- 白石 豊, 室屋義秀 (2018) 世界一のメンタル. アチーブメント出版.

- 白石 豊 (2020) 「メンタルトレーニングの理論と実際」 366～383. 医道の日本社『ダンサーのヘルスケア』.
- 庄司直人 (2018) 「スポーツ領域におけるリーダーシップ教育の実践と課題」 158-174. 大野貴司 (編) 『スポーツマネジメント実践の現状と課題—東海地方の事例から—』. 三恵社.
- 庄司直人 (2020) 「適応と学習を促すリーダーシップ」 142-162. 大野貴司 (編) 『現代スポーツのマネジメント論「経営学」としてのスポーツマネジメント序説』. 三恵社.
- 庄司直人, 岩浅 巧, 水野基樹 (2018) 「レジリエンス向上へ向けた取り組みを容易化し支援するツールの開発」 170-176. 働態研究のツール編集ワーキンググループ (編) 『働態研究のツール』. 人類働態学会.
- 高橋篤史, 植松 梓, 松井 健 (2019) 「第5章4 レース局面分析」 240-245. 公益財団法人日本水泳連盟 日本水泳連盟 (編) 水泳指導教本 三訂版. 大修館書店.
- 高橋季子, 水野基樹, 山田泰行, 芳地泰幸, 庄司直人, 水野有希, 岡田 綾, 曾田秀子 (2018) 「大学病院の看護師におけるアサーションのタイプとコミュニケーションネットワークに関する研究: 行動センサによるコミュニケーション評価の技術を用いて」 84-91. 働態研究のツール編集ワーキンググループ (編) 『働態研究のツール』. 人類働態学会.
- 高野 修, 庄司直人, 水野基樹 (2018) 「リーダーのリーダーシップ能力と運動部員の活動意欲との関連」 79-83. 働態研究のツール編集ワーキンググループ (編) 『働態研究のツール』. 人類働態学会.
- 築瀬 歩 (2020) 「運動部活動の指導」 186-188. 勝亦紘一, 家田重晴 (編著) 『新しい体育の授業づくり』. 大日本図書.
- 尹 熙喆 (2019) カント道徳哲学とスポーツ倫理. (株) 日本美術.

【総説・原著論文】

- 安達詩穂, 八木ありさ (2018) 創作と振り付けを含むダンスワークショップ教材の効果—小学6年生による自由記述の内容に着眼して—. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 1, 36-48. (査読付)
- 安達詩穂, 八木ありさ (2019) 児童を対象としたダンス・ワークショップが自己価値に評価に与える影響—ファシリテーターの意図に基づいて用いられる空間配置に着眼して—. スポーツパフォーマンス研究, 11, 106-124. (査読付)
- Ebara T, Yamada Y, Shoji N, Ito Y, Nakagawa A, Miyachi T, Ozaki Y, Omori T, Suzuki S, Kojima M, Ueyama J, Tomizawa M, Kato S, Oguri T, Matsuki T, Sato H, Oya N, Sugiura-Ogasawara M, Saitoh S, Kamijima M. (2019) Cohort profile: Aichi regional sub-cohort of the Japan Environment and Children's Study (JECS-A). *BMJ open*, 9(11), e028105. (査読付)
- 藤野良孝, 梶山俊仁, 中本光彦, 庄司直人, 井上元輝 (2018) 女子ラグビー指導における「楽しさ」と句要素の関係性についての一考察. 情報学研究, 27, 45-51.
- 藤野良孝 (2017) オノマトペの掛け声が料理の動作に与える影響. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 26, 47-52.
- 藤野良孝 (2017) オノマトペの表現が料理の動作イメージに与える影響. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 26, 25-33.
- 藤野良孝 (2017) ステップ運動で表現されるスポーツオノマトペの一考察. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 26, 41-45.
- 藤野良孝 (2017) 掃き掃除で表現されるオノマトペの調査研究. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 26, 35-40.
- 藤野良孝 (2018) 幼児の法教育の為のオノマトペオーディオブックの開発. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 27, 53-59.
- 藤野良孝 (2018) 幼児の法教育支援を目的としたオノマトペ絵本の開発と評価, 経営法学研究. 日本経営

実務法学会第 20 号, 29-41. (査読付)

藤野良孝 (2019) オノマトペ道德絵本におけるシナリオの検討. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 28, 45-51.

藤野良孝 (2019) オノマトペ道德絵本の視線ポイントに関する一考察. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 28, 51-56.

藤野良孝 (2019) 道德絵本における色彩オノマトペの学習的機能. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 28, 43-50.

藤野良孝 (2020) 幼児を対象にした法教育アニメーションで用いるオノマトペ文字の色彩とフォントの調査. 朝日大学情報教育研究センター情報学研究, 29, 1-7.

藤田英二, 竹田正樹, Islam MM, 竹島伸生 (2018) 中高年女性を対象とした 2 種類の Nordic walking の運動効果の比較. 体育学研究, 63(1), 305-314. (査読付)

Fujita E, Yakushi K, Takeda M, Islam MM, Nakagaichi M, Taaffe DR, and Takeshima N. (2018) Proficiency in pole handling during Nordic walking influences exercise effectiveness in middle-aged and older adults. Plos One <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0208070> (査読付)

Honda A, Hoshikawa M, Kobayashi Y, Matsubayashi T, Hayakawa N, Dohi M, and Suzuki Y. (2017) Preparation for Altitude in the 2010 FIFA World Cup: A Study of Japan's National Team. Journal of Exercise Physiology online, 20(4), 108-119. (査読付)

Honda A, Kon M, Matsubayashi T, Suzuki Y. (2020) Short-term intermittent hypoxic resistance training does not impair osteogenic response in sea-level residents. High Altitude Medicine and Biology, 21(2), 160-166. (査読付)

Ikuta Y, Takahashi A, Tachi M. (2018) Analysis of underwater phase after the turn and its relation to race performance: Data from Japanese elite male 200m swimmers. XIIIth INTERNATIONAL SYMPOSIUM on BIOMECHANICS and MEDICINE in SWIMMING PROCEEDINGS Version.1.0, 395-399. (査読付)

伊東裕希, 井上元輝, 會田 宏 (2017) ハンドボール競技におけるオフenseプレーを観察する着眼点: 卓越した指導者の観察記述を手がかりとして. ハンドボールリサーチ, 6, 9-21. (査読付)

Imai A, Sengoku N, Koizumi D, Kitabayashi Y, Naruse A, Rogers ML, and Takeshima N. (2017) Effect of a concurrent well-rounded exercise training using a floor-based exercise station in older women. Int J Sport Health Sci, 15, 168-178. (査読付)

梶山俊仁, 寺田泰人, 山本 巧, 廣瀬勝弘, 大塚道太, 小柳竜太 (2020) タグラグビーの学習内容に関する一考察 ~ 「ボール持ち運び」時の状況に着目して~. スポーツ教育学研究, 40(2), 17-29. (査読付)

Kato T, Tomioka T, Yamasita T, Yamamoto H, Sugajima Y, Ohnishi N. (2020) Effect of Nordic walking on bone mineral content and density in young women. Journal of Sports Science and Medicine, 19, 237-244.

Kato T, Yamashita T, Terashima T, Sugino K, and Sugajima Y. (2019) Bone mineral content, dietary intake and flow-mediated dilation in regularly trained middle aged women. Conference Proceedings 2019 Asia-Singapore Conference on Sport Science - Practical challenges encountered in sport and solutions adopted in Sport Science, 12-18. <https://ear.com.sg/wp-content/uploads/2019/11/ACSS-2019-Proceedings.pdf#page=19> ISBN: 978-981-14-0758-1

Kato Y, Koizumi D, Takeshima N, and Islam MM. (2018) Effects of a 12-week marching in place and chair-rise exercises on mobility function and ADL in frail older adults. J Phys Thera Sci, 30, 549-554. (査読付)

Kusunoki M, Kohama T, Yamada Y, Fujita E, Okada S, Maeda A, and Takeshima N. (2019) Evaluating activities of daily living using an infrared depth sensor: KINECT, Disab Rehabil : Assist Technol, 14(4),

368-378. (査読付)

増地克之, 法兼 真, 小倉大輝, 窪田友樹, 松井 崇 (2020) 大学男子柔道選手の体力向上に向けた足技かかり練習の至適ペース探索: 代謝・内分泌指標による基礎的検討. 体育学研究, 65, 793-804. (査読付)

松井かおり (2018) 海外にルーツを持つ子ども達の言語・生活調査委報告—瑞穂市の放課後日本語補習教室における事例から. 朝日大学一般教育研究協議会 一般教育紀要, 42, 85-100. (査読付)

松井かおり (2019) 海外にルーツがある子ども達の教育における市民サポーターの役割—瑞穂市外国人児童生徒支援員の支援方法に焦点をあてて—. 朝日大学一般教育研究協議会 一般教育紀要, 43, 1-10. (査読付)

松藤貴秋, 飯田祥明, 小林大地, 稲葉泰嗣, 禿 隆一 (2020) バスケットボールにおけるスカウティングの実践事例. バスケットボール研究, 6, 23-28. (査読付)

Nakaima Shu, Shoji Naoto, Kotaka Satoshi, Okumoto Ryuichi, Ohshiro Takuya, Ono Yoshihisa. (2019) Systematic Review of Intervention Research on Leadership for Strengthening Competitive Athletic Teams. Connecting Sport Practice & Science: The 27th European Sport Management Conference, 603-605. (査読付)

中本光彦, 細川正義, 梶山俊仁, 崎濱星耶, 小牧 寛, 山本知宙, 藤川慎之介, 種田行男 (2020) 2017年と2018年のスクラムに関するルール変更がラグビーのゲーム様相に及ぼす影響について. スポーツパフォーマンス研究, 12(1), 302-308. (査読付)

中村夏実, イスラム モハモド モニルル, 藤田英二, 佐藤博幸, 榮樂洋光, 坂口陽平, 竹島伸生 (2020) 中高年齢者を対象としたスタンドアップパドルボード運動によるバランスへの短期的効果. スポーツパフォーマンス研究, 12, 309-320. (査読付)

岡田壮市, 小粥崇司, 中本浩揮, 幾留沙智, 竹島伸生 (2020) 高齢者におけるモトバイクを使用した二重課題運動による身体機能と認知能力への運動効果. 理学療法科学, 35 (3), 1-9 (査読付)

小野圭久, 井上元輝, 庄司直人 (2019) 大学ハンドボールチームにおけるチームビルディングがメンバーのコミュニケーションスキルに及ぼす影響. 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部紀要 健康科学編, 2, 1-10.

Oya N, Ito Y, Ebara T, Kato S, Hioki K, Aoi A, Ueyama J, Oguri T, Shoji N, Sugiura-Ogasawara M, Saitoh S, Kamijima M. (2019) Exposure levels of organophosphate pesticides in Japanese diapered children: Contributions of exposure-related behaviors and mothers' considerations of food selection and preparation. Environment international 134, e105294. (査読付)

欧阳丽薇, 奥山 徹 (2019) 中国と日本間の越境電子商取引における「まとめ代行業者」サービスの提案, 朝日大学大学院経営学研究科紀要, 19, 21-32.

佐藤大典, 水藤弘史, 草薙健太, 高橋篤史, 高橋繁浩 (2018) ロンドン五輪選考会とリオデジャネイロ五輪選考会のレースパラメータの比較—男子短・中距離自由形種目に着目して. スポーツパフォーマンス研究, 10, 72-82. (査読付)

白石 豊 (2018) 総説: 体育・スポーツ指導者養成課程における専門体育実技のあり方を問う. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 1, 1~13.

白石 豊 (2018) 総説: 日本の将来を語る~眼からウロコが落ちるとき~. 日本教育1月号, 12~13.

庄司直人 (2020) 総説: 災害対応チームのCERCとリーダーシップ. Precision Medicine, 3(10), 54-59. (査読付)

庄司直人 (2020) 総説: 超急性期災害医療対応のノンテクニカルスキルを育てる. BIO Clinica, 35(3), 96-98. (査読付)

庄司直人, 上島通浩, 榎原 毅 (2020) 総説: 人間工学ナッジを事例としたCOVID-19による社会不安軽減

- 減に向けたリサーチイシューの提案 CBRNE 災害におけるクライシス・エマージェンシー・リスクコミュニケーション. 人間工学, 56(2), 49-57. (査読付)
- 菅嶋康浩, 加藤 尊, 肥田満裕 (2017) チェアスキーでの連続ターンにおける圧分布及び上肢筋活動の特徴. アダプテッド・スポーツ科学, 15(1), 29-38.
- Sugiura-Ogasawara M, Ebara T, Yamada Y, Shoji N, Matsuki T, Kano H, Kurihara T, Omori T, Tomizawa M, Miyata M, Kamijima M, Saitoh S, Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. (2018) Adverse pregnancy and perinatal outcome in patients with recurrent pregnancy loss: Multiple imputation analyses with propensity score adjustment applied to a large-scale birth cohort of the Japan Environment and Children's Study. American journal of reproductive immunology, 81(1), e13072. (査読付)
- 高橋弘樹, 奥山 徹 (2021) Blockchain を用いたセキュリティを強化したサプライチェーン・マネジメントシステムに関する研究. 朝日大学大学院経営学研究科紀要, 21. (2021-03-31 刊行予定).
- Kato T, Tomioka T, Yamashita T, Yamamoto H, Sugajima Y, and Onishi N. (2020) Nordic Walking Increases Distal Radius Bone Mineral Content in Young Women. Journal of Sports Science and Medicine, 19(2), 237 ~ 244. (査読付)
- Ebara T, Azuma R, Shoji N, Matsukawa T, Yamada Y, Akiyama T, Kurihara T, Yamada S. (2017) Reliability of smartphone-based gait measurements for quantification of physical activity/inactivity levels. Journal of Occupational Health, 59(6), 506-512. (査読付)
- 竹島伸生, 禿 隆一 (2020) 総説：加齢に伴うバランスの低下と高齢者のバランス運動の効果. スポーツ健康科学研究, 42, 1-15.
- Takeshima N, Islam M M, Kato Y, Koizumi D, Narita M, Kitabayashi Y, Rogers NL, and Rogers ME. (2017) Effects of 12 weeks of Tai Chi Chuan training on balance and functional fitness in Japanese older adults. Sports, 5(2), 32 ; doi : 10.3390/sports5020032 (査読付)
- Takeshima N, Islam MM, Narita M, Matsui T, Okada S, and Brechue WF. (2018) Comparison of cardiovascular response to water immersion in elderly during rest and exercise. Bull Depart Health and Sports Sci, Asahi University, 1, 16-24. (査読付)
- Takeshima N, Kohama T, Kusunoki M, Fujita E, Okada S, Islam MM, and Brechue WF. (2019) Development of simple, objective chair-standing ADL assessment in older individuals using a Kinect sensor. J Frailty Aging, 8(4), 186-191. (査読付)
- Takeshima N, Kohama T, Kusunoki M, Fujita E, Okada S, and Brechue WF. (2020) A 20-sec stepping test and KINECTTM sensor provides objective quantification of movement/balance dysfunction in older individuals. Exp Aging Res, 46(3), 244-256. (査読付)
- 土田 洋, 内山 明, 建部貴弘 (2019) 自転車安全教育に関する教科書分析. 朝日大学教職課程センター研究報告, 21(1), 31-46.
- 鰐 少喰, 奥山 徹 (2017) 日中間の越境電子商取引における商品配送モデルの研究, 朝日大学大学院経営学研究科紀要, 17, 1-14.
- 渡邊 諒, 山本寛明, 山本英弘, 岩堀正俊, 都尾元宣 (2019) 義歯装着が歩行に及ぼす影響. スポーツ歯学, 23(1), 8-13. (査読付)
- 八木ありさ, 安達詩穂, 松山善弘, 松澤慶信, 坂本秀子, 宮本乙女, 森 立子, 高野美和子, 岩淵多喜子, 石川浩子, 渡辺 碧 (2018) 日本女子体育大学舞踊学専攻学生のキャリア意識—学年進行との関わりに着眼して—. 日本女子体育大学紀要, 48, 123-139. (査読付)
- 八木ありさ, 原田純子, 三岳貴彦, 安達詩穂 (2018) JAPEW—ダンスムーブメント指導員公認資格取得者の活動参加動機と活動継続効果に関する意識. 日本女子体育連盟学術研究, 34, 1-15. (査読付)
- Yamada Yasuyuki, Ebara Takeshi, Yamaguchi Chikae, Miyachi Taishi, Shoji Naoto, Matsuki Taro, Kano

- Hirohisa, Hirosawa Masataka, Kamijima Michihiro. (2020) Sexual difference in 2nd-to-4th digit ratio among 1.5-year-old Japanese children: A cross-sectional study of Aichi regional adjunct cohort of the Japan Environment and Children's Study (JECS-A). *Early Human Development*, 146, e105050. (査読付)
- 山根 基, 加藤 尊, 大西範和 (2018) 習慣的に行う運動後アイシングの有効な冷却温度帯に関する研究. *デサントスポーツ科学*, 39, 94-102.
- 築瀬 歩, 橋川恵介, 外山貴之 (2018) スポーツインストラクション・サービスのクオリティと顧客満足に関する研究. *朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要*, 1, 27-38. (査読付)
- 築瀬 歩, 西尾宏太良 (2021) スキー場の経営戦略に関する考察. *朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要*, 4, 3-11. (査読付)

【研究資料・研究報告】

- 藤野良孝, 梶山俊仁, 寺田泰人 (2020) 幼児たちの1日の活動実態と課題について. *朝日大学情報教育研究センター情報学研究*, 29(1), 9-17.
- 藤野良孝, 梶山俊仁, 中本光彦, 庄司直人, 井上元輝 (2018) 女子ラグビー指導における「楽しさ」と句要素の関係性についての一考察. *朝日大学情報教育研究センター情報学研究*, 27(1), 45-51.
- 藤野良孝, 梶山俊仁, 中本光彦, 庄司直人, 薫田真広 (2018) 女子ラグビーのコーチングで使用されるスポーツオノマトペの実態調査. *朝日大学情報教育研究センター情報学研究*, 27(1), 21-28.
- 藤野良孝, 梶山俊仁, 中本光彦, 庄司直人 (2018) アクティブ・ラーニングのためのラグビーノートのデザイン検討. *朝日大学情報教育研究センター情報学研究*, 27(1), 29-35.
- 藤野良孝, 梶山俊仁 (2018) アクティブ・ラーニングを志向したうんちゃんマーカークォーンの開発ー小学生ラグビーの場合ー. *朝日大学情報教育研究センター情報学研究*, 27(1), 37-43.
- 芳賀 繁, 南川忠男, 庄司直人, 野々瀬晃平 (2019) ノンテクニカルスキル/レジリエンス・スキルの教育訓練. *産業・組織心理学研究*, 33(1), 65-68.
- 平野雅巳, 高橋篤史, 松波 勝, 寺本圭輔 (2020) 中等強度の水中運動と自転車運動における部位別体水分量の変化と利尿作用. *健康医療科学研究*, 10, 63-70. (査読付)
- 井上元輝, 藤本 元, 會田 宏 (2017) ハンドボールにおけるステップシュートの指導法に関する事例: 国際レベルのコーチ資格を有する卓越した指導者の語りから. *ハンドボールリサーチ*, 6, 79-87. (査読付)
- 岩佐直樹, 來田享子 (2017) 1948年～1951年の期間に国家公務員法第73条に基づいて実施されたレクリエーション活動の特徴に関する研究: 人事院および厚生省のレクリエーションプログラムの分析を通して. *中京大学体育研究所紀要*, 31, 15-27.
- 岩佐直樹, 來田享子 (2019) 国家公務員法第73条にもとづくレクリエーション活動の普及・発展プロセスに関する研究ー1950年に制定された国家公務員レクリエーション基本方針及び実施方針の作成経緯と計画内容の検討を通して. *中京大学体育研究所紀要*, 33, 105-112.
- 梶山俊仁, 佐々木 康, 寺田泰人, 山本 巧, 吉田浩二, 高津浩彰, 武石健哉, 小泉和也, 中本光彦, 大塚道太, 小柳竜太 (2019) 2017年度ワールドラグビー試験的ルールの検証ー2016年度及び2017年度の海外, 国内のゲームにおけるスクラムに着目してー. *ラグビー科学研究*, 30(1), 10-17. (査読付)
- 禿 隆一, 土田 洋, 井上元輝, 安達詩穂, 本田亜紀子 (2018) スポーツ系学科の大学生における身体的・体力的特徴について～第1報 全国平均との比較～. *朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要*, 1, 59-65.
- 禿 隆一, 土田 洋, 井上元輝, 安達詩穂, 本田亜紀子 (2019) スポーツ系学科の大学生における身体的・体力的特徴について～第2報 2018年度調査について～. *朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要*, 2, 1-7.

- 禿 隆一, 土田 洋, 井上元輝, 安達詩穂, 窪田友樹, 本田亜紀子 (2020) スポーツ系学科の大学生における身体的・体力的特徴について～第3報 2019年度調査～. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 27-34.
- 小柳竜太, 梶山俊仁, 大塚道太, 高田正義, 杉原叡土 (2020) ラグビーフットボールにおける高強度ランニング時のプレー局面に関する研究. コーチング学研究, 33(2), 197-206. (査読付)
- 大塚道太, 森木吾郎, 房野真也, 菅 輝, 梶山俊仁, 塩川満久, 出口達也, 黒川隆志 (2018) DLT法を用いたブロック大会レベルの7人制ラグビーゲーム中の運動強度. コーチング学研究, 32(1), 99-111. (査読付)
- 佐々木 康, 古田仁志, 古川拓生, 山本 巧, 上野雄一, 下園博信, 村上 純, 寺田泰人, 早坂一成, 中本光彦, 梶山俊仁, 大塚道太, 大勝志津穂, 安井直史, 浜野俊平, 中島正太, 戸田 尊, 薫田真広, 岩淵健輔, 大村武則, 中山光行, 勝田 隆, 河野一郎 (2019) ラグビーゲームの分岐点となったプレイのネットワーク構造. ラグビー科学研究, 30(1), 1-9. (査読付)
- 佐々木 康, 渡辺一郎, 山本 巧, 下園博信, 村上 純, 寺田泰人, 早坂一成, 梶山俊仁, 浜野俊平, 中島正太, 薫田真広, 岩淵健輔, 中山光行, 勝田 隆, 河野一郎 (2020) 2019 ラグビーワールドカップにおける南アフリカの防御および得点のネットワーク構造. ラグビー科学究, 31(3), 3-8. (査読付)
- 白石 豊 (2018) ヨーガ療法とスポーツメンタルトレーニング. 日本ヨーガ療法学会, 45～58.
- 庄司直人, 高橋季子, 森口博充, 高田亮子, 富樫恵美子, 岩浅 巧, 中島 豊, 稲葉健太郎, 水野基樹 (2019) 看護組織の人的資源マネジメントー妊娠中の看護師の母性保護支援に着目してー. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 35-40.
- 庄司直人 (2020) ウィズ・コロナ時代のリーダーシップ: 9つのアクション. 労働の科学, 75(8), 24-27.
- 庄司直人, 水野基樹 (2021) ベス・イスラエル病院の組織改革ー看護の質と看護師の働き方の変化に着目してー. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 20-25.
- 菅嶋康浩, 石田直章, 加藤 尊, 本田亜紀子, 高橋篤史, 山本英弘 (2019) パラパワーリフティング選手のベンチプレス動作の安定性に関する研究. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 8-12.
- 菅嶋康浩, 石田直章, 加藤 尊, 本田亜紀子, 山本英弘 (2018) Para Powerlifting における適切なベンチプレスフォームの確立に向けた筋電図学的基礎研究ー健常者の一流男性選手によるベンチプレス動作からの考察ー. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 1, 51-58.
- 菅嶋康浩, 加藤 尊, 比嘉悠志, 葭原晴昇, 米塚雅弘, 米塚 暁 (2021) 卓球選手の打球の予測に対する視線行動に関する研究. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 12-16.
- 菅嶋康浩, 加藤 尊, 大森俊和, 亀川義己, 藤原伸悟 (2021) 姿勢調節及び動作の安定性に対するマウスガードの効果: 重心動揺について. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 17-19.
- 土田 洋 (2019) 大学生のスポーツ傷害および事故の現状. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 13-17.
- 尹 熙喆, 菅嶋康浩, 加藤 尊 (2019) 健康概念における一考察. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2(1), 8-12.
- Iwai Y, Iwabuchi K, Nakayama M, Kunda M, Watanabe I, Yamamoto T, Murakami J, Shimozono H, Terada Y, Hayasaka K, Kajiyama T, Katsuta T, Kono I, Sasaki K (2019) Clustering men's world rugby sevens by temporal attack-defence performance. Japanese Journal of Rugby Science, 31(2), 66-68. (査読付)

【実践研究・実践報告】

安達詩穂, 禿 隆一, 井上元輝, 菅嶋康浩 (2020) リズムダンスの振り付け習得場面における視線行動計測の試み. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 41-46.

庄司直人, 山岸庸太, 高鷹 達, 榎原 毅 (2018) 超急性期災害医療対応を想定した組織レジリエンス・トレーニング「宝さがし」のトライアル. 人間工学, 54(6), 219-225. (査読付)

菅嶋康浩, Yukiya Oba, Kaori Tamura, 山本英弘, 竹島伸生 (2021) 新型コロナ対応で生じた2020年度前学期遠隔授業の取り組み -健康スポーツ科学科とハワイ大学マノア校 Kinesiology and Rehabilitation Science 学科-. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 66-75.

富田恭介, 井上元輝, 山下純平 (2020) ハンドボールにおける2対2スクリーンプレイ時のピヴォットプレイヤーのスクリーンのコツに関する事例研究: 国際レベルで活躍したピヴォットプレイヤーの語りを手がかりに. ハンドボールリサーチ, 9, 13-20. (査読付)

山本英弘, 菅嶋康浩, 竹島伸生 (2021) 朝日大学健康スポーツ科学科の新旧カリキュラムについて. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 76-85.

【研究ノート】

岩堀正俊, 山本寛明, 渡邊 諒, 山本英弘, 山内六男 (2020) ホームページ上での歯学部及び歯科大学附属病院のスポーツ歯科外来の現状. スポーツ歯学, 24(1), 52-55.

【学会報告】

梶山俊仁 (2020) Asia-Pacific Conference on Performance Analysis in Sport 2019に参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 49-51.

梶山俊仁 (2021) The 2020 Yokohama Sport Conference (On-line)に参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 30-32.

加藤 尊 (2019) 第9回 Asia Conference on Kinesiology 2018に参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 21-23.

加藤 尊 (2021) 25th Annual Congress of the European College of Sports Science - COVID-19 感染拡大による遠隔参加 -. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 26-29.

庄司直人, 仲井間 嵩 (2020) The 27th European Sport Management Conference 参加記. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 53-55.

菅嶋康浩 (2019) The 15th Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise in Malaysiaに参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 2, 24-26.

土田 洋 (2018) 第5回日本介護福祉・健康づくり学会大会を振り返って. 介護予防・健康づくり研究, 5(1), 56-58.

尹 熙喆 (2020) The 7th Roundtable Meeting of Asia-Pacific Network for Holistic Education 学会報告. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 47-48.

【研修報告】

禿 隆一, 山本英弘 (2020) 朝日大学短期海外研修 (ハワイ大学マノア校) を終えて. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 65-68.

【翻 訳】

船木浩斗, 井上元輝, 伊東裕希, 禿 隆一, 富田恭介, 新井翔太, 高橋豊樹, 山下純平 (2017) ハンドボールにおけるゲーム中の負荷に関する検討: 時間帯別のボールポゼッションの分析に基づいて. ハンド

ボールリサーチ, 6, 97-106. (査読付)

井上元輝, 庄司直人, 尹 熙喆 (2018) ハンドボール選手が知覚するリーダーシップスタイルと逸脱の関係. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 1, 67-72.

【活動報告】

本田亜紀子 (2021) 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアでのサポート活動について—学生と一緒に帯同して—. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 33-37.

窪田友樹 (2020) イタリア共和国における柔道クリニック活動報告. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 61-64.

松井かおり (2021) 英語授業におけるポートフォリオ評価の活用 —学生の学習履歴を細やかに見取るために—. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 38-45.

白石 豊 (2021) 「良師のご縁に導かれ」朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 54-65.

塚中敦子 (2020) 羽島市ホストタウン事業、コーチ・選手トレーニングプログラム指導に参加して. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 3, 57-60.

塚中敦子, 井上元輝 (2021) 体育会ハンドボール部における栄養士活動の報告. 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科紀要, 4, 46-53.